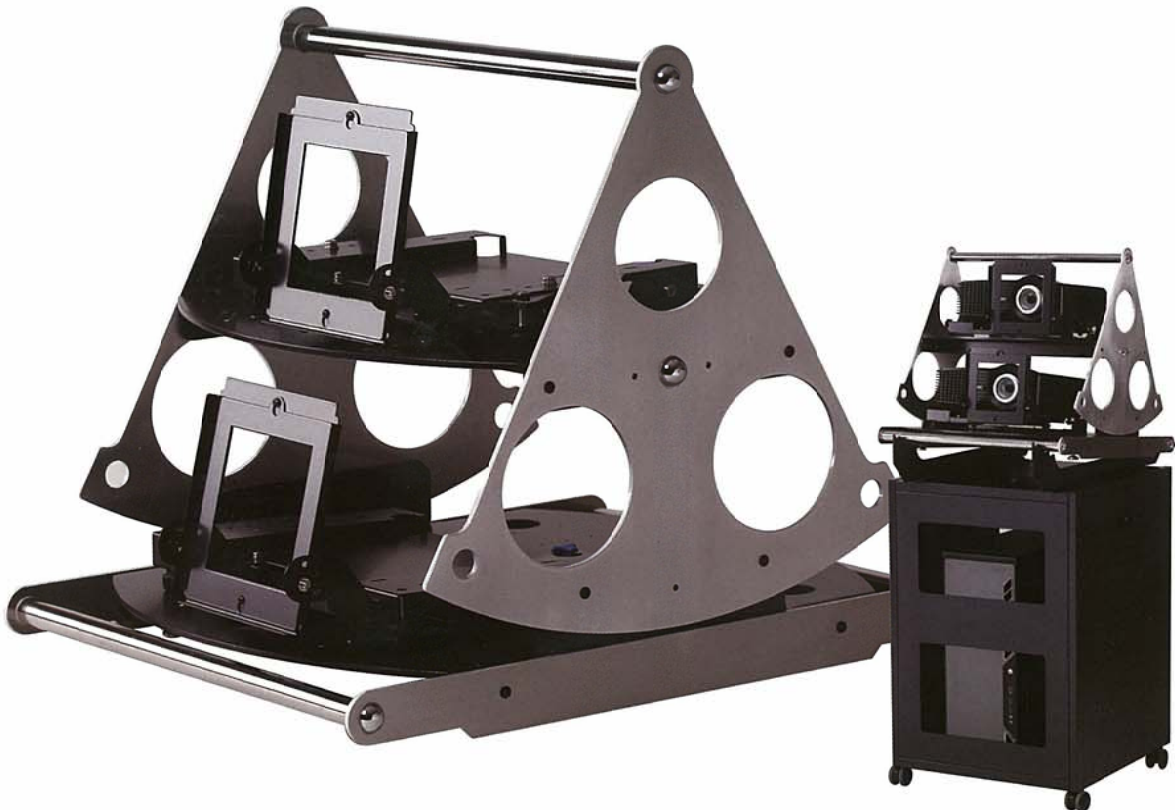


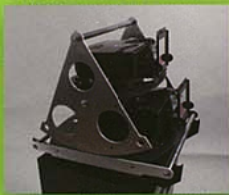
S·O·Ra 200

tereo optical ck



S·O·Ra200と専用PCラックを組み合わせた状態
本カタログに掲載しています投影機器、PC、モニター等は、S·O·Ra200および専用PCラックに付属していません。お客様にてご用意をお願いします。

専用ラック取付例



専用ラック利用で、大画面投影時の光軸チルトが4~7度の4段階の調整が可能

投影軸の調整(垂直方向)



個々の投影机光軸のチルトは左右の調整脚を前後することで簡単に微調整が可能

投影軸の調整(水平方向)



個々の投影机光軸の左右調整は取付座ごと回転することで簡単に微調整が可能

引き出し使用例



専用ラックには、多目的な収納引き出しを装備(10"モニター、キーボード:参考)

移動



投影机を含めても約20kgと持ち運びがとても簡単
車載時も省スペース

S·O·Ra(エス・オー・ラ)200は、プロジェクター搭載部分だけを独立し、主要部分にアルミを取り入れることでコンパクト・軽量化を実現し、3D投映機器の持ち運びをいっそう手軽にしました。

また移動設置時には欠かせない投影軸の調整も簡単にでき、投影準備も短時間で行えます。

これを利用し、国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクトで開発されたMitakaを用い宇宙の歴史などの3D映像を夜空の下で学習することができます。(映像などに関しましては、国立天文台ホームページまた翔泳社刊「宇宙を体験! Mitaka & Mitaka Plus 入門」などをご参照ください。)

<http://www.world-sds.co.jp>

SDS エスディエス株式会社

金沢工業大学 感動デザイン工学研究所 共同開発